

第4章 基本理念と基本目標

1. 基本理念

水道は、市民生活と社会経済活動を支える重要なライフラインであり、いつでも安全・安心でおいしい水道水を、合理的な対価をもって提供し続けなければなりません。

むつ市水道事業は、昭和21年に給水を開始して以来、平成29年度で71周年を迎えました。この間、市の発展とともに拡張事業を進めながら「安全で安心な給水の確保」に努めてきましたが、社会環境の変化や多様化するお客さまのニーズなど、水道事業を取り巻く環境も大きく変わってきました。

しかし、水道事業は、将来に向けて水資源の確保、水質の保全、供給施設の整備、効率的経営の推進等に努め、また、安定給水の確保、給水サービスの向上や健全経営を確保しつつ、次世代へ引き継いでいく必要があります。

これらのことから、「むつ市水道ビジョン2018」においても、「むつ市水道ビジョン」の理念を引き継ぎながら、お客さまとの信頼関係を大切にして、安全でおいしい水道水をいつまでもお届けできるように水道事業者としての使命を果たすべく、次のとおり基本理念を設定し、計画的に水道事業を運営してまいります。

基本理念

かがやく未来をささえる むつの水道

～ 安全・強靱な水道をいつまでも～

◆むつ市総合経営計画

基本理念 笑顔かがやく 希望のまち むつ

◆厚生労働省新水道ビジョン

基本理念 地域とともに、信頼を未来につなぐ日本の水道

水道の理想像 時代や環境の変化に対する的確に対応しつつ、水質基準に適合した水が、必要な量、いつでも、どこでも、誰にでも、合理的な対価をもって、持続的に受け取ることが可能な水道

【安全】安全な水道 すべての国民が、いつでもどこでも、水をおいしく飲める水道

【強靱】強靱な水道 自然災害による被災を最小限にとどめ、被災した場合であっても、迅速に復旧できるしなやかな水道

【持続】水道サービスの持続 給水人口や給水量が減少した状況においても、健全かつ安定的な事業運営が可能な水道

2. 基本目標

本計画においては、基本理念である『かがやく未来をささえる むつの水道』のもと、国が水道ビジョンにおいて示した水道の理想像を踏まえながら、今後、むつ市水道事業が目指すべき方向性の実現に向けて、取り組むべき4つの基本目標を設定し、市民一人ひとりが安心して水道水を使用できるように目標達成に取り組んでいきます。

基本目標

1. 安全で安心な水道
2. 安定供給できる強靱な水道
3. 未来につなげる水道
4. お客さまと向きあう水道

基本理念

目指す方向性

基本目標1 安全で安心な水道

水源から蛇口まで一貫した水質管理の強化を図り、安全・安心で良質な水道水の提供を目指します。

基本目標2 安定供給できる強靱な水道

老朽化施設の更新や耐震化など、平常時はもとより災害にも強い水道施設の整備や適切な管理体制の構築を図り、ライフラインとしての役割を果たす強靱な水道を目指します。

基本目標3 未来につなげる水道

事業運営の効率化や財政体質の強化、人材育成、広域連携など、経営基盤の強化に向けた取り組みを推進し、持続可能な水道事業の確立を目指します。

基本目標4 お客さまと向きあう水道

お客さまニーズの多様化・高度化に対応したサービスの向上を図るとともに、水道事業に関する積極的な情報提供や広聴機能の強化など、市民協働の視点をもった取組を推進するなど、お客さまと向きあいながら、満足度の高い信頼される水道を目指します。

3. 施策体系

基本目標の達成に向け、優先的・重点的に取り組んでいく「主要施策」と「主要事業」を体系的に整理し、それに基づき、各事業を計画的に推進していきます。

